

「生物多様性つくば戦略（仮称）」の策定に向けた 市民アンケート調査結果

1. 調査の概要

○調査の目的

「生物多様性地域戦略」の策定に向け、生物多様性や自然環境に関する市民の意識や取組状況、本市の施策に対するニーズ等を把握することを目的とする。

○調査の方法

対象：18歳以上のつくば市民 2,000人（住民基本台帳に基づく無作為抽出）

調査期間：令和5年9月1日～9月23日

配布方法：郵送による配布・回収（WEB回答にも対応）

○回収数・回収率

調査票郵送数：1,990件（宛先住所に受取人が居住していなかったため、10件は返送された）

調査票回収数：651件（郵送：390件、ウェブ261件）

回収率：32.7%

2. 結果概要

<問1> 生物多様性の認知度

「生物多様性」という言葉の認知度は42.2%と高い値であった。(内閣府実施の全国調査では29.4%)

<問2> 自然の良さを感じる場面

自然の良さを感じる場面については、「鳥のさえずりや虫の鳴き声などを自宅周辺などの身近な場所で聞いたとき」(75.7%)という回答が最も多く、次いで「近くの公園や緑地に行ったとき」(68.0%)、「植物の芽吹きや花を見かけたとき」(66.5%)、「山林や自然公園に出かけて自然に触れたとき」(64.1%)であった。

<問3> 生きものの認知度

生きものの認知度(「この10年間で実際に見たり、鳴き声を聞いたことがある」+「どんな生きものか思い浮かべることができる」+「名前は聞いたことがある」)が最も高い生きものはフクロウ(96.0%)であった。次いでヤマユリ(91.5%)・オオタカ(90.7%)・オオムラサキ(80.2%)が続いた。一方、ツクバハコネサンショウウオ(32.2%)・キンラン(22.3%)・マルバクス(9.2%)の認知度は低かった。

<問4> 大切だと思う自然

「大切だと思う自然」について、筑波山(95.7%)が最も多く選択された。次いで、洞峰公園(70.4%)、畑地・水田などの田園風景(62.4%)、街路樹(53.9%)、ホタル(53.5%)、宝篋山(50.5%)であった。また、生きものについて割合が高い(30%以上)ものは、ホタル(53.5%)、キジ(46.9%)、フクロウ(45.3%)、ヤマユリ(38.9%)、オオタカ(38.2%)、オオムラサキ(34.7%)であった。

<問5> 自然への脅威

自然への脅威については、「野外へのゴミの放棄、化学物質の放出による野生生物への悪影響」(90.3%)「人の手が入らなくなった里山や平地林、田畑などの荒廃」(87.4%)「アライグマやセイタカアワダチソウなどの外来生物の増加」(87.3%)「地球温暖化や異常気象による野生生物への影響」(86.1%)「イノシシなどの一部の野生生物が増えすぎたことによる農地や森林への影響」(84.5%)が問題だと感じている割合が高かった。

<問6> 生物多様性に関する取組状況

生物多様性に関する取組の状況について、消費行動では、「旬の食品、地元の食品を選んで購入する」(58.9%)、「無農薬・減農薬の食品、有機野菜を選んで購入する」(57.4%)に市民の半数以上が取り組んでいる(「いつも取り組んでいる」+「時々取り組んでいる」の回答割合)。また、「生物多様性に配慮したマークのある食品・商品を選んで購入する」(18.4%)が最も低い結果となった。

自然や生きものとの関わり方について、取り組んでいると答えた割合が高い(「積極的に取り組んでいる」+「時々取り組んでいる」が60%以上)取組は、「筑波山や里山、水辺などの美しい自然景観を楽しむ」(70.3%)、「身近な生きものの観察等、外に出て自然とふれあう」(60.1%)、「生きものを飼う・栽培するときは最後まで責任を持って育てる」(67.0%)であった。また、市民の約半数が「生け垣・庭づくりなど、住宅での緑化に取り組む」(52.8%)、「自然や生きものについて家族や友人と話す」(49.2%)に取り組んでいる。一方で、「緑化を行う際につくば市産など地元の植物を使用する」という回答は少なかった(21.0%)。

イベント・保全活動への参加については、何れの取組も参加したことがある(「積極的に参加している」+「参加したことがある」)という回答が14%以下となった。

<問7> 取り組もうと思える取組内容

「生物多様性に関する取組についてどのような場合に取り組もうと思うか」という問いに対しては、「同じ値段であれば生物多様性に配慮した商品を買いたい」(66.5%)、「自分ができる取組内容をわかりやすく教えてもらえれば取り組みたい」(51.6%)という回答が多かった。

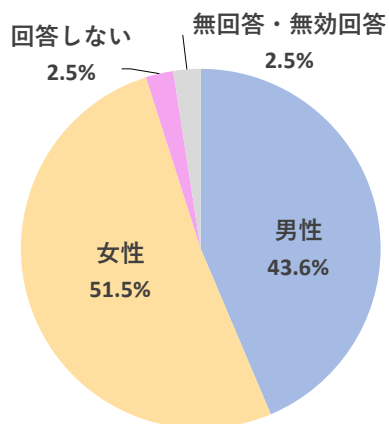
<問8> 今後力を入れるべき取組

今後力を入れるべき取組について、「筑波山などのすぐれた生態系の保全」(60.4%)という回答が最も多く、続いて、「子どもたちの自然環境教育・自然体験の促進」(37.0%)、「里山や農地など身近な自然環境の保全」(36.1%)、「生態系に影響を与える外来生物の対策」(24.9%)、「フクロウやツクバハコネサンショウウオなどの貴重な野生生物の保全」(23.0%)となった。

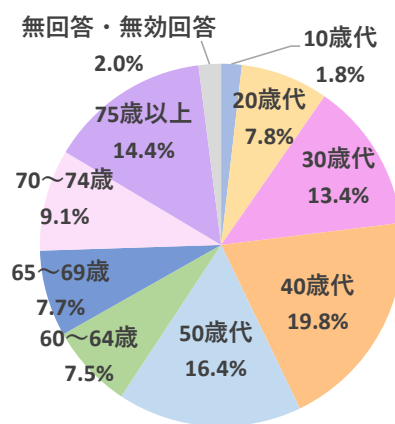
3. 集計結果

<回答者の属性>

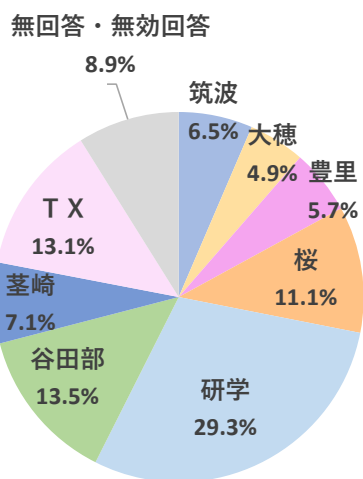
性別



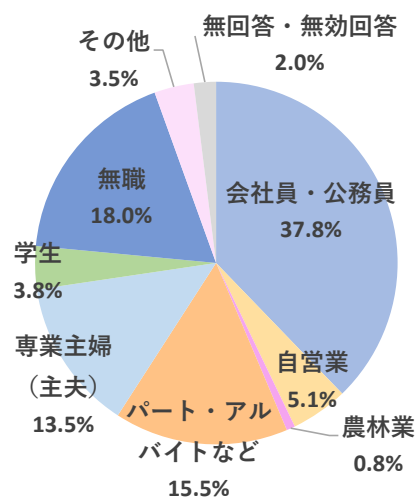
年齢



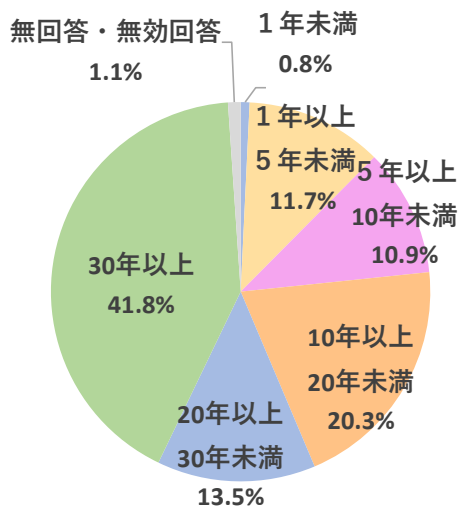
住所（居住地）



職業



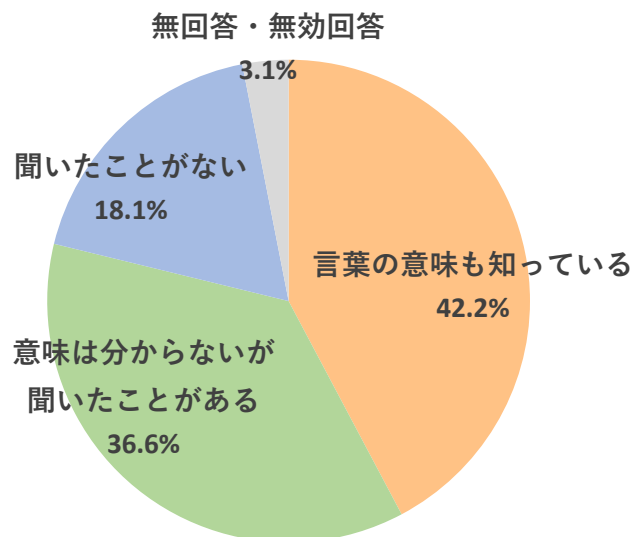
つくば市居住年数



<問1> 生物多様性の認知度

あなたは「生物多様性」という言葉を知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「生物多様性」という言葉の認知度は42.2%と高い値であった。(内閣府実施の全国調査では29.4%)

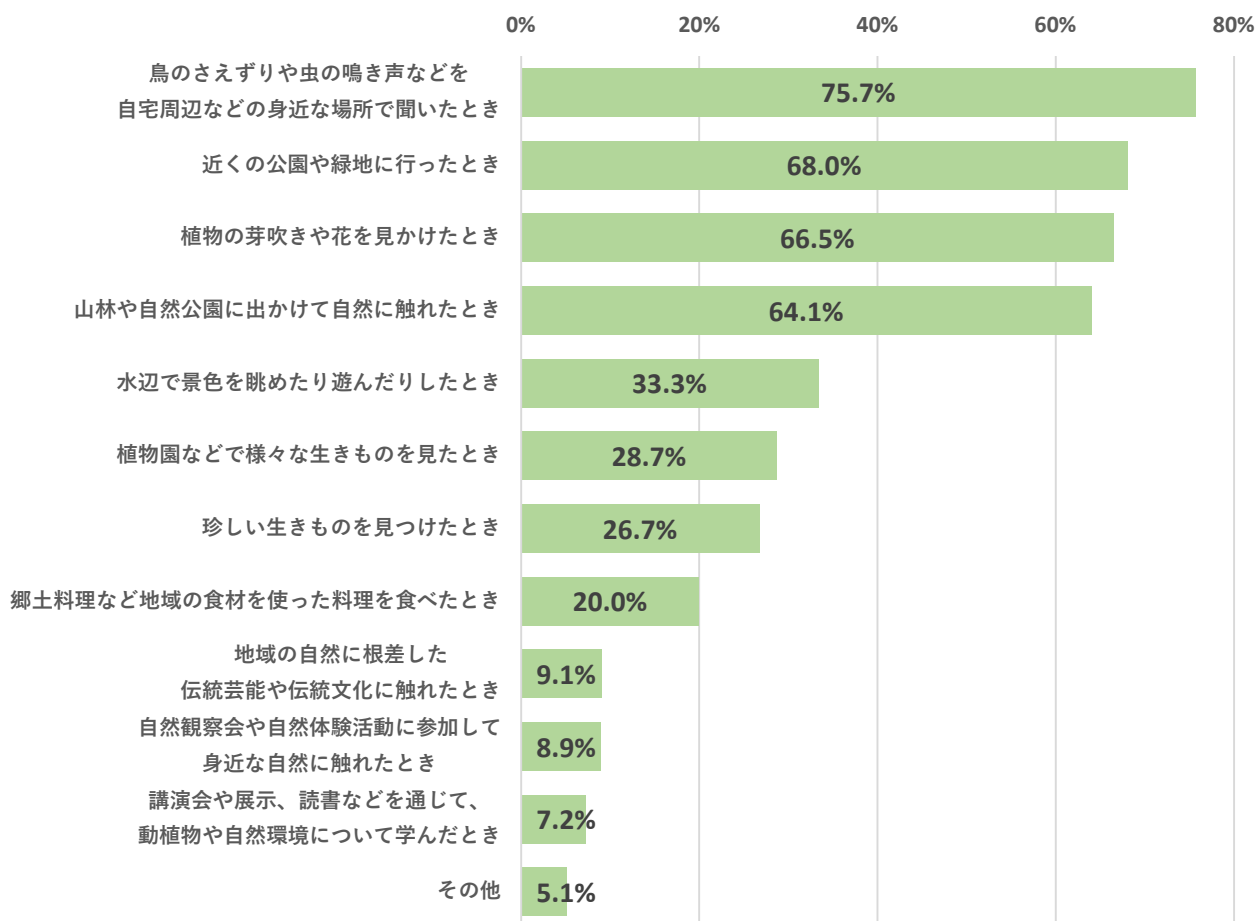


<問2> 自然の良さを感じる場面

あなたはつくば市で暮らす中で、どのような場面で自然の良さを感じますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

自然の良さを感じる場面については、「鳥のさえずりや虫の鳴き声などを自宅周辺などの身近な場所で聞いたとき」(75.7%)という回答が最も多く、次いで「近くの公園や緑地に行ったとき」(68.0%)、「植物の芽吹きや花を見かけたとき」(66.5%)、「山林や自然公園に出かけて自然に触れたとき」(64.1%)であった。

無回答は全体の0.6%であった。



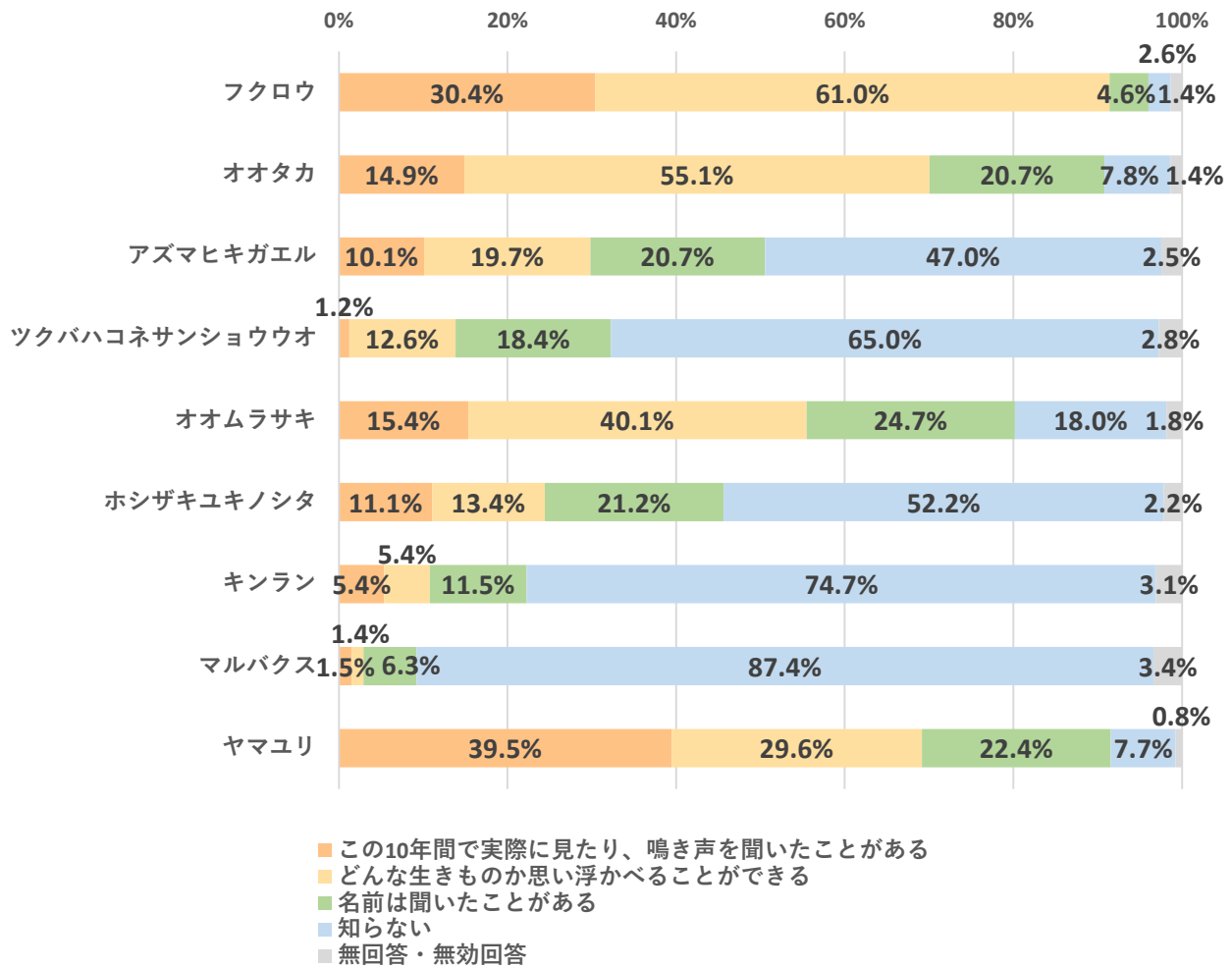
■その他記述 ※原則として回答された原文のまま掲載しております。

- ・小田米（新米）ウマイ 5月の田んぼの美しさ（水が入って）。星乃珈琲から見えて、8月頃感動しました
- ・どンドン、自然が少なくなっていく中僅かな空地に生えた草を見つけペットが排泄している姿を見た時
- ・なし
- ・空気と水のきれいさ、緑の多さ（エアコンフィルターの汚れの少なさ、トイレの水タンクのかきれいさ）
- ・ゴルフプレー時の周囲の景色
- ・ゆとりがない
- ・特にない
- ・自分が生かされている命が動、植物のおがげと思う時
- ・テレビで世界の自然番組見る楽しみ
- ・自分のベランダで花、野菜を育てたとき
- ・つくば山を遠くからながめた時
- ・日常生活の中でいつも感じています
- ・自宅庭づくり
- ・高層ビルがないひらけた台地である。そのため「風」がタイヘン心地良い。
- ・自宅から筑波山が見えるのですが、四季折々の様々な表情を見せる山の風景を目にするたびに自然の良さを感じます
- ・近くの田畑を散歩する時
- ・農作業中
- ・動植物の生態・生理に接した時
- ・筑波山のながめ。日の出、日の入りのながめ。池にくる野鳥 鴨、川鶉、雲雀、つ、鷺、鷺
- ・昆虫採集で種々多様な虫が捕れたとき
- ・野菜や果物が新鮮で美味しいとき
- ・住居の周辺で雉、亀、オオタカなどをしばしば見かける。桜並木がありとても癒やされる環境下にある
- ・ふとしたタイミングで草木の香りのする風に吹かれたとき
- ・特に気にしていない
- ・街路樹の季節の変化
- ・日常の買い物や用事などの移動（自転車移動です）犬の散歩
- ・感じることはないという回答項目がありません。アンケートとして不適切です
- ・野生のキジに出会ったとき
- ・家の近くの道で、満開の桜の向こうに筑波山が見えたとき
- ・人や家や車が周りにいない時
- ・水辺でアメリカザリガニを捕る時
- ・小さな虫も住める環境（安全）
- ・空気がしんせん

<問3>生きものの認知度

つくば市には様々な生きものが生息・生育しています。次の生きものについて、あてはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

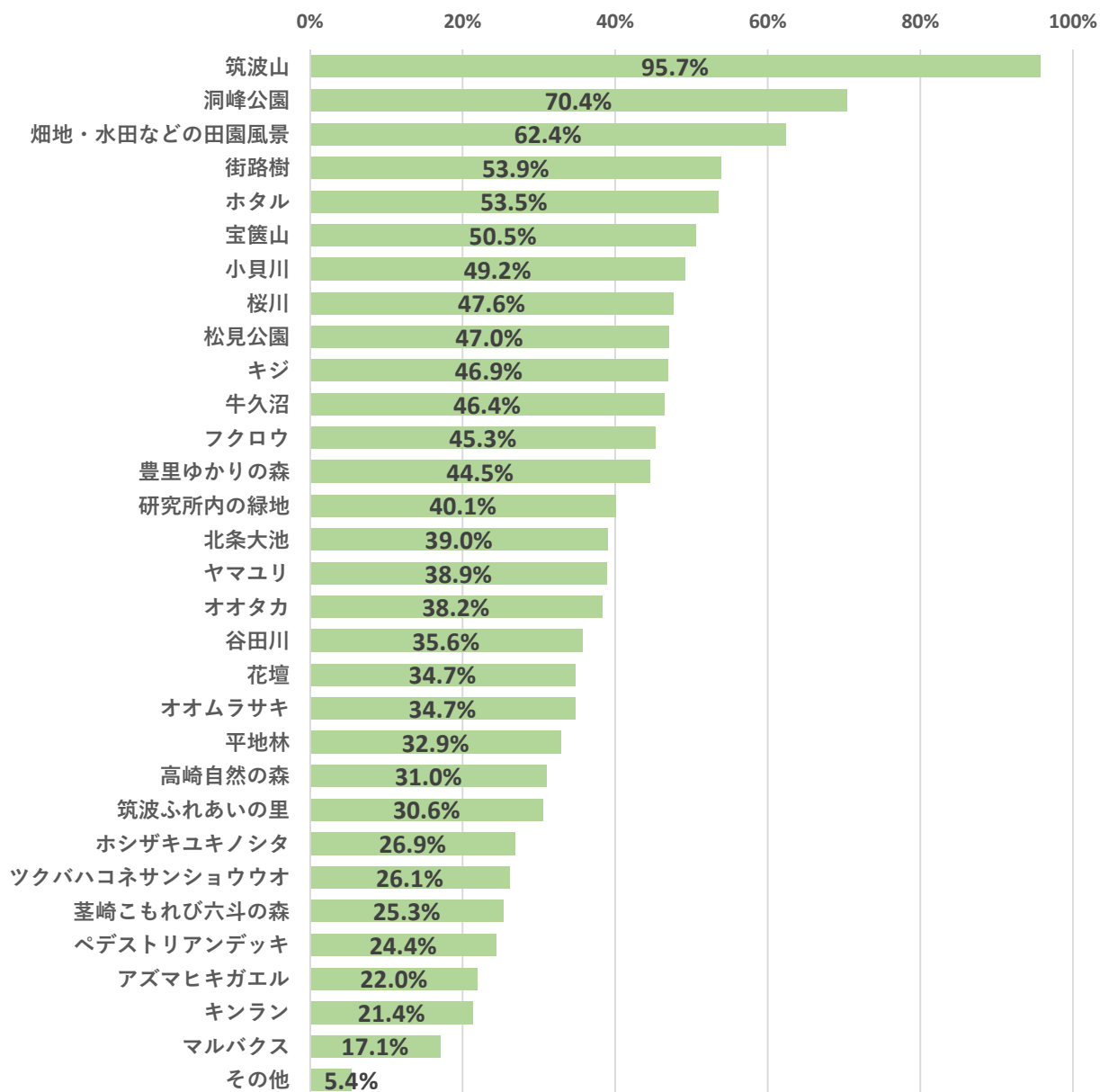
生きものの認知度（「この10年間で実際に見たり、鳴き声を聞いたことがある」＋「どんな生きものか思い浮かべることができる」＋「名前は聞いたことがある」）が最も高い生きものはフクロウ（96.0%）であった。次いでヤマユリ（91.5%）・オオタカ（90.7%）・オオムラサキ（80.2%）が続いた。一方、ツクバハコネサンショウウオ（32.2%）・キンラン（22.3%）・マルバクス（9.2%）の認知度は低かった。



<問 4> 大切だと思う自然

あなたがつくば市で大切だと考える自然について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

「大切だと思う自然」について、筑波山（95.7%）が最も多く選択された。次いで、洞峰公園（70.4%）、畑地・水田などの田園風景（62.4%）、街路樹（53.9%）、ホタル（53.5%）、宝篋山（50.5%）であった。また、生きものについて割合が高い（30%以上）ものは、ホタル（53.5%）、キジ（46.9%）、フクロウ（45.3%）、ヤマユリ（38.9%）、オオタカ（38.2%）、オオムラサキ（34.7%）であった。



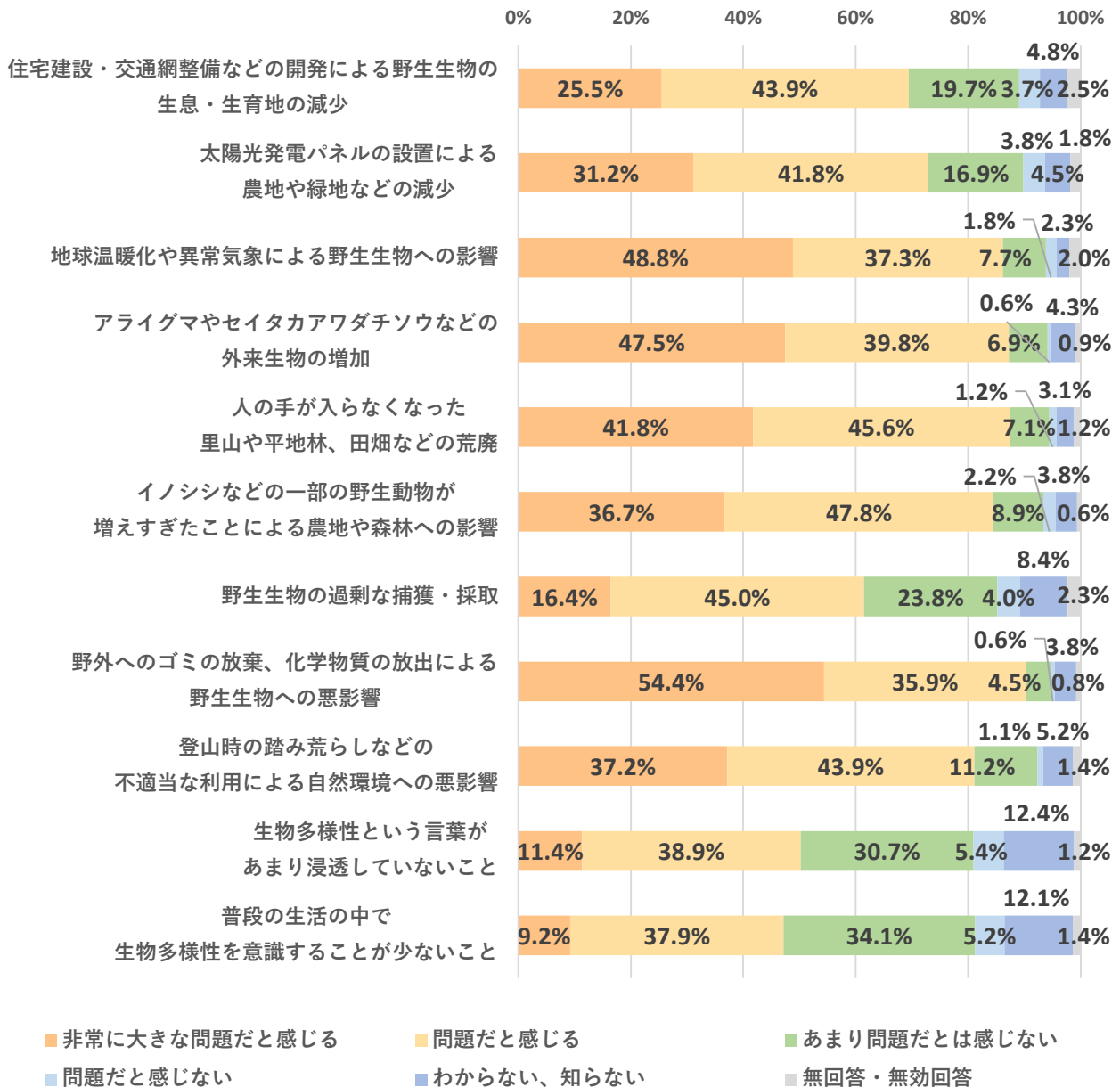
■その他記述 ※原則として回答された原文のまま掲載しております。

- ・空地や河川敷のススキ野や葛の群生
- ・筑波実験植物園
- ・なし
- ・花室川、小野川、稲荷川
- ・メダカ、ウナギ、キツネ、ジュズカケハゼ、タナゴ
- ・あま茶・カタクリれんげ畑
- ・筑波山をもっと整備して観光に耐えるものにしていただきたい。現在はあいかわらずひどい！
- ・セミ
- ・学園線のイチヨウ並木、桜テクノパークの桜並木、きせの林道
- ・23 はアズマ、とかわからない
- ・玉虫やミズイロオナガシジミ、ルリビタキ、ヒレンジャクなどが自宅周辺で見られること
- ・生物は大事だと考える
- ・自然は全て必要である
- ・せみ
- ・白鳥、こうの鳥、川魚、全ての小鳥等
- ・遊歩道（できれば自然石で出来た遊歩道の補修は同様の素材で施工して欲しい。）アスファルトなどではなくて
- ・1～31 まで全て
- ・うぐいす
- ・全て
- ・公務員宿舎敷地中の大木
- ・カブトムシ、クワガタ
- ・川沿いや筑波大学周辺の自然
- ・花室川
- ・オオミズアオが今年自宅に来た
- ・筑波山で見られるブナ、カタクリ、アズマイチゲ、ニリンソウなどの植物や、ブッポウソウ、ホトトギスなどの鳥類)
- ・カブトムシ、クワガタムシ類
- ・大切だと思う自然はないという回答項目がなく、不適切です。恣意的に回答を導こうとしています
- ・その辺にある人工物以外の森や林
- ・廃公務員住宅敷地の樹木
- ・取り壊しが進む公務員住宅の敷地にある森
- ・街の中のちょっとした緑地。住宅地の中の公園。新たなマンションや分譲住宅地を作る場合に緑あふれる公園を設置するよう、義務付けてほしい
- ・アメリカザリガニが捕れる場所
- ・特に最近減っている平地林は野鳥の住処なので、とても大切

<問5> 自然への脅威

今のつくば市の自然についてあなたが問題だと感じていることを教えてください。あてはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

自然への脅威については、「野外へのゴミの放棄、化学物質の放出による野生生物への悪影響」(90.3%)「人の手が入らなくなった里山や平地林、田畑などの荒廃」(87.4%)「アライグマやセイタカアワダチソウなどの外来生物の増加」(87.3%)「地球温暖化や異常気象による野生生物への影響」(86.1%)「イノシシなどの一部の野生生物が増えすぎたことによる農地や森林への影響」(84.5%)が問題だと感じている割合が高かった。

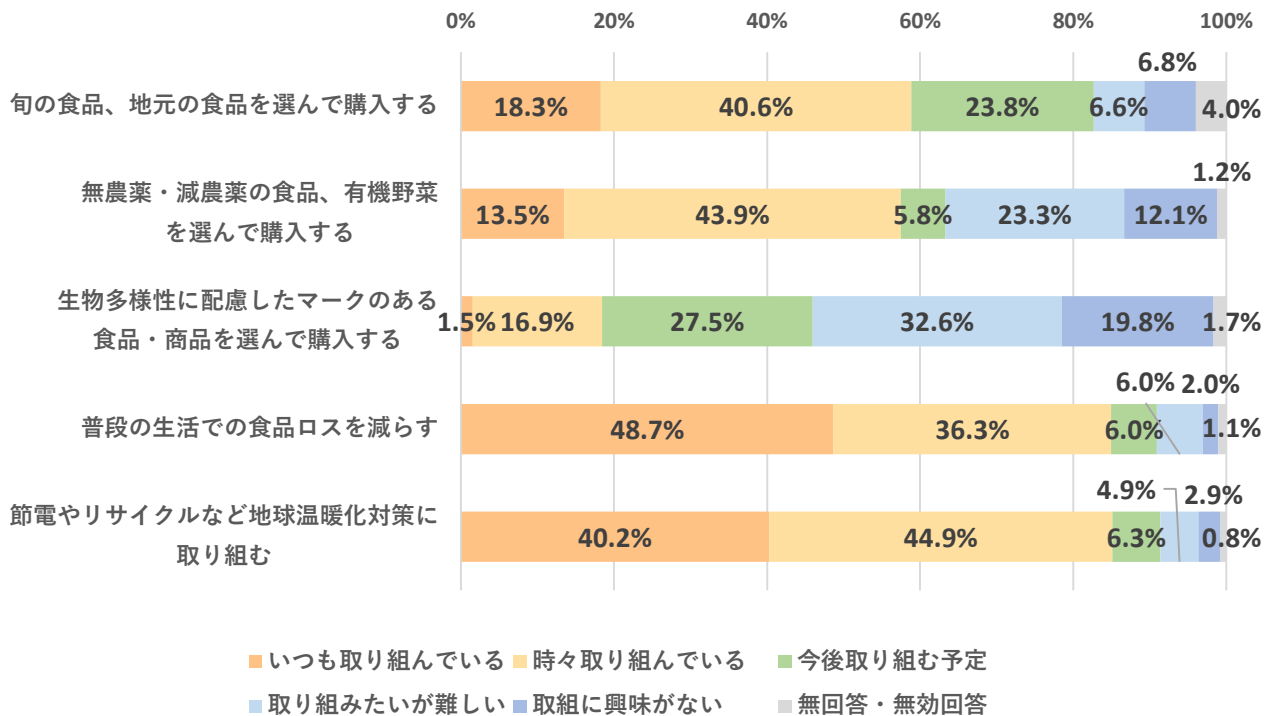


<問 6> 生物多様性に関する取組状況

あなたが自然環境や生きもののことを考えて日頃から取り組んでいることについてお聞かせください。各項目について、あてはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

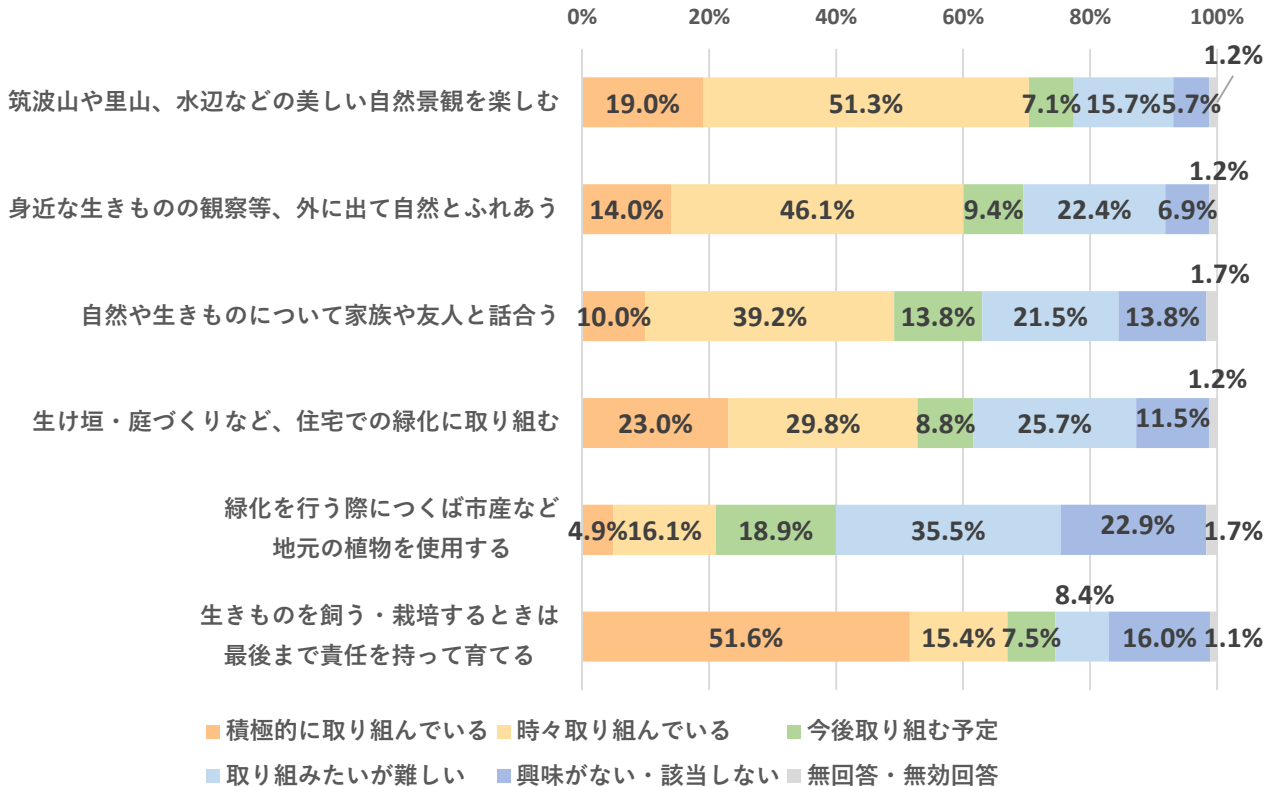
【消費行動】

生物多様性に関する取組の状況について、消費行動では、「旬の食品、地元の食品を選んで購入する」(58.9%)、「無農薬・減農薬の食品、有機野菜を選んで購入する」(57.4%)に市民の半数以上が取り組んでいる(「いつも取り組んでいる」+「時々取り組んでいる」の回答割合)。また、「生物多様性に配慮したマークのある食品・商品を選んで購入する」(18.4%)が最も低い結果となった。



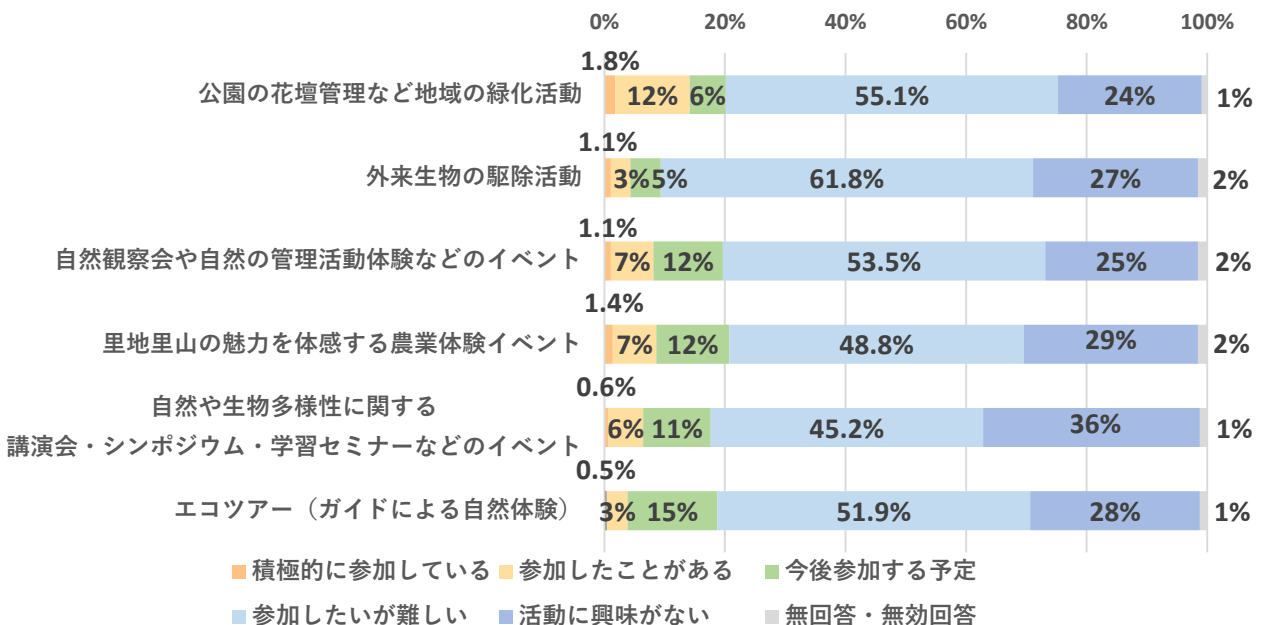
【自然や生きものとの関わり方】

自然や生きものとの関わり方について、取り組んでいると答えた割合が高い（「積極的に取り組んでいる」＋「時々取り組んでいる」が60%以上）取組は、「筑波山や里山、水辺などの美しい自然景観を楽しむ」（70.3%）、「身近な生きものの観察等、外に出て自然とふれあう」（60.1%）、「生きものを飼う・栽培するときは最後まで責任を持って育てる」（67.0%）であった。また、市民の約半数が「生け垣・庭づくりなど、住宅での緑化に取り組む」（52.8%）、「自然や生きものについて家族や友人と話合う」（49.2%）に取り組んでいる。一方で、「緑化を行う際につくば市産など地元の植物を使用する」という回答は少なかった（21.0%）。



【イベント・保全活動への参加】

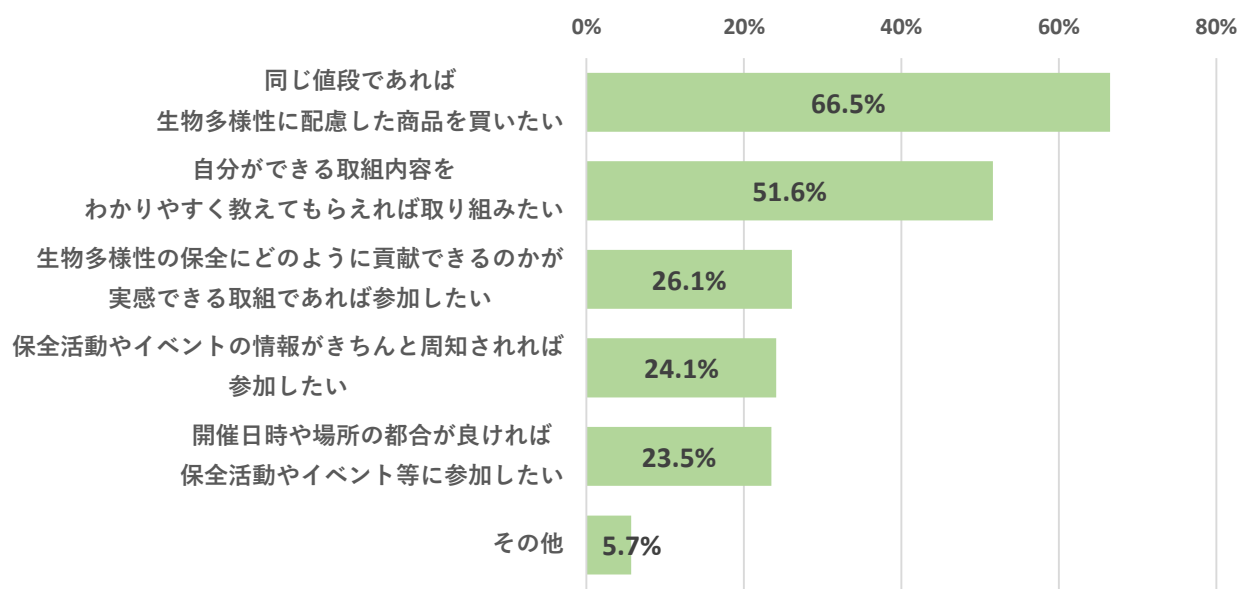
イベント・保全活動への参加については、何れの取組も参加したことがある（「積極的に参加している」＋「参加したことがある」）という回答が14%以下となった。



<問 7> 取り組もうと思える取組内容

生物多様性に関する取組について、どのような場合に取り組もうと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「生物多様性に関する取組についてどのような場合に取り組もうと思うか」という問いに対しては、「同じ値段であれば生物多様性に配慮した商品を買いたい」(66.5%)、「自分ができる取組内容をわかりやすく教えてもらえれば取り組みたい」(51.6%)という回答が多かった。
無回答は全体の5.1%であった。



■その他記述 ※原則として回答された原文のまま掲載しております。

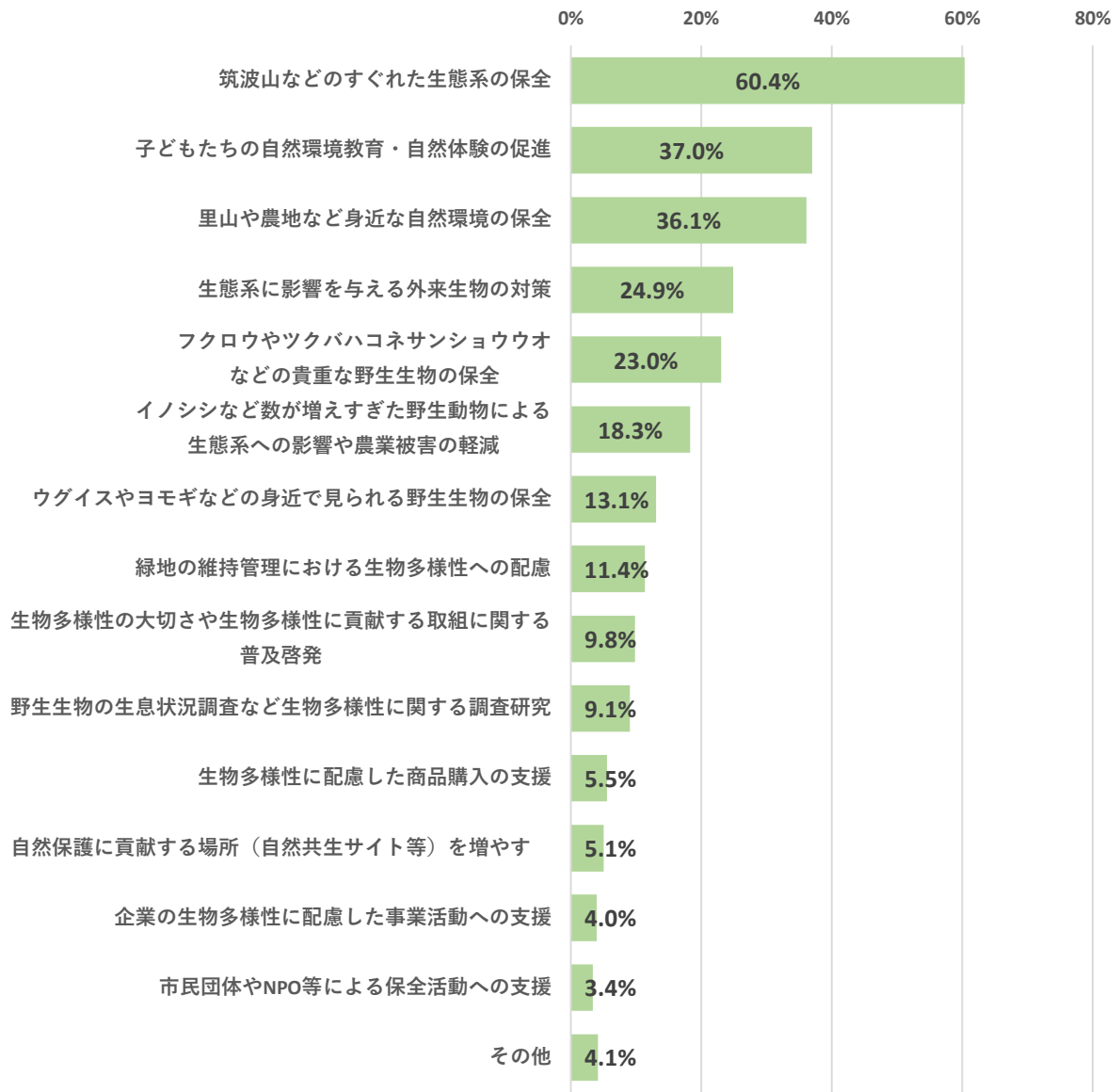
- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">・自由に参加できるオンライン型のイベントがあれば・なし・市報等での活動の積極的 PR 紹介・ゆとりがない・無し・分からない・奈良公園の鹿に驚きを人と共存その他・茨城県民在の方々と話しが通じないので参加しにくい・畑をかりて花や野菜を育てたい・年で体調も良くなり、自分の事でいっぱい・わからない・特別なことではない、普通のことだと思います・年齢、体力的に参加することは無理・取組に参加する事で何かメリットがある場合に参加したい(市の施設を優先的に使用できるなど)・家庭菜園、植樹・生物多様性自体がそもそも分からないので何も考える材料がない・日常が大切・地球温暖化・SDGs と密接に連携しているので、そこをきちんと示してくれるような活動なら歓迎したい | <ul style="list-style-type: none">・取組たいとは思わないが生物多様性と言う感がえ方は大切にしたい・今まで余り考えた事が無い・よくわからない・生物多様性がどういうことなのかわからない・現状の生活にあまり支障がでない場合取り組みたい・生物多様性という言葉の範囲が広すぎて、イメージがつきにくい・小さい子でも親子で気軽に参加できるといい・生物多様性についてよく分からないので・Web で面白いためになる広報があれば見たい・興味ない・興味なし・職場や学校などにも生物多様性に関する取組をアピールしたり実際に研修会を行うことで、もっと市民に生物多様性についての知識や行動変容を喚起できると思う・選択肢が生物多様性へ取り組むことが正義という前提で設問が構成されており不快感すら感じます・外来種も含む生き物全般の保護活動・ジオパーク活動で自然理解と観光開発を同時に進めてほしい |
|--|--|

<問 8> 今後力を入れるべき取組

今後、つくば市の自然や生物多様性を守るために、特に力を入れるべき取組について3つまで○をつけてください。

今後力を入れるべき取組について、「筑波山などのすぐれた生態系の保全」(60.4%)という回答が最も多く、続いて、「子どもたちの自然環境教育・自然体験の促進」(37.0%)、「里山や農地など身近な自然環境の保全」(36.1%)、「生態系に影響を与える外来生物の対策」(24.9%)、「フクロウやツクバハコネサンショウウオなどの貴重な野生生物の保全」(23.0%)となった。

無回答は全体の1.5%、無効回答(4つ以上を選択)は4.6%であった。



■その他記述 ※原則として回答された原文のまま掲載しております。

- ・技能実習生（や観光客）の外国人むけ周知できてい、カントクカンリ
- ・つくば市政のとどまる所を知らない地域開発、湧き水が枯れるのも時間の問題ですね。みどりの住民はみどり No と云ってます。地域開発するなら、ある一定の緑地を残して欲しい、公園ではなく！！森林を！！
- ・なし
- ・公園の池が、落葉により、どぶ池化している。池の水抜きを行い浄化するとヤゴなどの生息が可能
- ・生物多様性という言葉が本当にいいのか？わかりにくい
- ・ゆとりがない
- ・分からない
- ・ごみのちらかし、有害な化学物質放出をへらす。ごみとくにプラスチック！！を回収
- ・除草ざいの使用をやめてもらいたい
- ・一般市民の日常の中に（イベントやマルシェなど）生物多様性の良さを感じられる企画をする
- ・外来種については専門家の知識により放置しないことだと思う
- ・特別の場所に出かけなくても散歩の途中、買い物ついで、自宅の周りで見られる自然を大切にしたい
- ・農薬、除草剤、殺虫剤の多用を制限するよびかけ
- ・生物多様性絶対主義ともいえる考えをやめて、多様な考えを受け入れること
- ・外来種も含む生物全般の保護活動。駆除ではなく保護
- ・不法投棄やゴミの後処理をしない等の取り組み強化
- ・特定外来、生態系被害防止外来種への対策
- ・生物の過剰な売買
- ・全くわからない
- ・生物多様性を取り入れる利点について、周知させる
- ・つくば市だけでは意味がないので近隣自治体と協力する体制
- ・学校で子どもたちの見聞を拡げても、保護者自身の生物多様性についての見識が乏しいと学校以外での行動の拡がりや深まりに期待できない。もっと成人に対して市民の見識レベルを上げるよう、様々な職場での研修会などを開くとよいと思う
- ・ゴミの不法投棄に対する対策
- ・移住者が増えるのと同時に住宅地や商業施設などが増え、緑が減ったと思う。前はキジをよく見たが、最近はあまり見ることが出来ない。元は緑が沢山あった場所も、木が伐採され、なんの建物も建っていない場所がある。人間だけが住みやすい街にすることだけを考えるだけでいいのか。より便利なまちづくりも大切だが、元からあった自然を壊す理由にはならないと思う
- ・生物多様性に大変重要な、地球温暖化に関する教育の充実。子どもたちをはじめ、大人についても重要。洞峰公園が市のものになれば、（なくても）、また市役所などの市の施設に、地球温暖化をはじめとする環境維持の重要性を示す拠点にもなる場所を作ってほしい
- ・野焼きをさせない

<送付状>

つくば市の自然環境や生物多様性に関する市民アンケート

《ご協力をお願い》

つくば市には、筑波山や宝篋山などの山々や桜川・谷田川などの河川、そして平地林、畑地、水田が一体となった里地里山などの豊かな自然環境があり、その中には多様な生き物が息づいています。こうした生物の多様性を保全し、将来にわたって自然の恵みを享受できるよう、つくば市では生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する基本的な計画である生物多様性地域戦略の策定を進めています。

計画の策定にあたり、市民の皆さまから、普段感じていることや日頃の実践などについてお聞かせいただき、現状の把握や今後の市の施策の参考にさせていただきたく、アンケート調査を実施いたします。

つきましては、調査の目的・趣旨をご理解の上、アンケート調査にご協力いただきますようお願いいたします。

令和5年(2023年)9月

つくば市長 五十嵐 立 青

令和5年(2023年)9月23日(土)までに、ご回答をお願いします。

スマホまたはパソコンを持っていますか？

はい

インターネットで回答



◀ アクセスはこちらから

※インターネット回答用IDを入力してアンケートに回答してください。

<専用ウェブサイト URL>

https://apply.e-tumo.jp/city-tsukuba-ibaraki-u/offer/offerList_detail?tempSeq=44416

いいえ

紙の調査票で回答

調査票に回答を記入し、同封の返信用封筒（切手不要）に入れてポストに投函してください。

《ご回答にあたって》

- ・本アンケートは令和5年8月1日現在、つくば市に住民登録をされている満18歳以上の方の中から、無作為に抽出した2,000人に送付しています。
- ・封筒の宛名のご本人様のお考えや状況についてご回答ください。それが難しい場合は、ご家族の方がお答えいただいても結構です。
- ・本アンケートは無記名により実施します。ご回答いただいた内容については統計的な処理をするため、回答者が特定されることはありません。また、アンケート票右上の「インターネット回答用ID」は、郵送回答とインターネット回答の重複を確認するものです。回答用IDはアンケート票にランダムに付与しており、個人を特定できないようにしています。
- ・返信用封筒やアンケート票にお名前やご住所は書かないでください。



<お問合せ先>

〒305-8555 つくば市研究学園一丁目1番地1 つくば市生活環境部環境保全課
担当：茂木、千田 電話：029-883-1111(代表) 内線4350、4351

< 調査票 >

インターネット回答用 ID

つくば市の自然環境や生物多様性に関する市民アンケート

アンケート票は本用紙の両面にわたります。回答は黒のボールペンまたは濃い鉛筆で直接ご記入ください。大変お忙しいこととは存じますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

実施主体：つくば市環境保全課 受託事業者：株式会社ブレック研究所

自然環境と生物多様性について

問1 あなたは「生物多様性」という言葉を知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 言葉の意味も知っている | 2. 意味は分からないが聞いたことがある |
| 3. 聞いたことがない | |

問2 あなたはつくば市で暮らす中で、どのような場面で自然の良さを感じますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 山林や自然公園に出かけて自然に触れたとき | 2. 近くの公園や緑地に行ったとき |
| 3. 植物の芽吹きや花を見かけたとき | 4. 珍しい生きものを見つけたとき |
| 5. 水辺で景色を眺めたり遊んだりしたとき | 6. 植物園などで様々な生きものを見たとき |
| 7. 鳥のさえずりや虫の鳴き声などを自宅周辺などの身近な場所で聞いたとき | 8. 自然観察会や自然体験活動に参加して身近な自然に触れたとき |
| 9. 講演会や展示、読書などを通じて、動植物や自然環境について学んだとき | 10. 郷土料理など地域の食材を使った料理を食べたとき |
| 11. 地域の自然に根差した伝統芸能や伝統文化に触れたとき | 12. その他 () |

問3 つくば市には様々な生きものが生息・生育しています。次の生きものについて、あてはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

| | この10年間で実際に見たり、鳴き声を聞いたことがある | どんな生きものか思い浮かべることができる | 名前は聞いたことがある | 知らない |
|---------------|----------------------------|----------------------|-------------|------|
| フクロウ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| オオタカ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| アズマヒキガエル | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ツクバハコネサンショウウオ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| オオムラサキ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ホシザキユキノシタ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| キンラン | 4 | 3 | 2 | 1 |
| マルバクス | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ヤマユリ | 4 | 3 | 2 | 1 |

つくば市で大切だと考える自然について

問4 あなたがつくば市で大切だと考える自然について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

| | | |
|-------------|--------------|-------------------|
| 1. 筑波山 | 2. 宝篋山 | 3. 桜川 |
| 4. 小貝川 | 5. 谷田川 | 6. 牛久沼 |
| 7. 北条大池 | 8. 平地林 | 9. 畑地・水田などの田園風景 |
| 10. 花壇 | 11. 街路樹 | 12. 荃崎こもれび六斗の森 |
| 13. 豊里ゆかりの森 | 14. 筑波ふれあいの里 | 15. 高崎自然の森 |
| 16. 洞峰公園 | 17. 松見公園 | 18. ペDESTリアンデッキ |
| 19. 研究所内の緑地 | 20. フクロウ | 21. オオタカ |
| 22. キジ | 23. アズマヒキガエル | 24. ツクバハコネサンショウウオ |
| 25. オオムラサキ | 26. ホタル | 27. ホシザキユキノシタ |
| 28. キンラン | 29. マルバクス | 30. ヤマユリ |
| 31. その他 () | | |

つくば市での自然への脅威について

問5 今のつくば市の自然についてあなたが問題だと感じていることを教えてください。あてはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

| | 非常に大きな問題だと感じる | 問題だと感じる | あまり問題だとは感じない | 問題だと感じない | わからない、知らない |
|------------------------------------|---------------|---------|--------------|----------|------------|
| 住宅建設・交通網整備などの開発による野生生物の生息・生育地の減少 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 太陽光発電パネルの設置による農地や緑地などの減少 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 地球温暖化や異常気象による野生生物への影響 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| アライグマやセイタカアワダチソウなどの外来生物の増加 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 人の手が入らなくなった里山や平地林、田畑などの荒廃 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| イノシシなどの一部の野生動物が増えすぎたことによる農地や森林への影響 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 野生生物の過剰な捕獲・採取 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 野外へのゴミの放棄、化学物質の放出による野生生物への悪影響 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 登山時の踏み荒らしなどの不適当な利用による自然環境への悪影響 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 生物多様性という言葉があまり浸透していないこと | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 普段の生活の中で生物多様性を意識することが少ないこと | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

生物多様性に関する取組について

問6 あなたが自然環境や生きもののことを考えて日頃から取り組んでいることについてお聞かせください。各項目について、あてはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

【消費行動】

| | いつも取り組んでいる | 時々取り組んでいる | 今後取り組む予定 | 取り組みたいが難しい | 取組に興味が無い |
|--------------------------------|------------|-----------|----------|------------|----------|
| 旬の食品、地元の食品を選んで購入する | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 無農薬・減農薬の食品、有機野菜を選んで購入する | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 生物多様性に配慮したマーク*のある食品・商品を選んで購入する | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 普段の生活での食品ロスを減らす | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 節電やりサイクルなど地球温暖化対策に取り組む | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

*レインフォレスト・アライアンス(持続可能な農業の基準要件を満たす認証農園で生産された作物が製品に使用されていることを示す)、MSC(持続可能で適切に管理されている漁業で獲られた水産物であることを示す)、FSC(適切な森林管理の認証を受けた森林からの木材・木材製品であることを示す)、ASC(環境や社会などに配慮した、責任ある養殖により生産された水産物であることを示す)などのマーク

【自然や生きものとの関わり方】

| | 積極的に取り組んでいる | 時々取り組んでいる | 今後取り組む予定 | 取り組みたいが難しい | 興味が無い・該当しない |
|------------------------------|-------------|-----------|----------|------------|-------------|
| 筑波山や里山、水辺などの美しい自然景観を楽しむ | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 身近な生きものの観察等、外に出て自然とふれあう | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 自然や生きものについて家族や友人と話合う | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 生け垣・庭づくりなど、住宅での緑化に取り組む | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 緑化を行う際につくば市産など地元の植物を使用する | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 生きものを飼う・栽培するときは最後まで責任を持って育てる | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

【イベント・保全活動への参加】

| | 積極的に参加している | 参加したことがある | 今後参加する予定 | 参加したいが難しい | 活動に興味が無い |
|--------------------------------------|------------|-----------|----------|-----------|----------|
| 公園の花壇管理など地域の緑化活動 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 外来生物の駆除活動 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 自然観察会や自然の管理活動体験などのイベント | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 里地里山の魅力を体感する農業体験イベント | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 自然や生物多様性に関する講演会・シンポジウム・学習セミナーなどのイベント | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| エコツアー（ガイドによる自然体験） | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

問7 生物多様性に関する取組について、どのような場合に取組もうと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 同じ値段であれば生物多様性に配慮した商品を買いたい
2. 開催日時や場所の都合が良ければ保全活動やイベント等に参加したい
3. 生物多様性の保全にどのように貢献できるのかが実感できる取組であれば参加したい
4. 自分ができる取組内容をわかりやすく教えてもらえれば取組みたい
5. 保全活動やイベントの情報がきちんと周知されれば参加したい
6. その他 ()

今後力を入れるべき取組について

問8 今後、つくば市の自然や生物多様性を守るために、特に力を入れるべき取組について3つまで○をつけてください。

1. 筑波山などのすぐれた生態系の保全
2. フクロウやツクバハコネサンショウウオなどの貴重な野生生物の保全
3. ウグイスやヨモギなどの身近で見られる野生生物の保全
4. 野生生物の生息状況調査など生物多様性に関する調査研究
5. 里山や農地など身近な自然環境の保全
6. 自然保護に貢献する場所（自然共生サイト*等）を増やす
7. 緑地の維持管理における生物多様性への配慮
8. 生態系に影響を与える外来生物の対策
9. イノシシなど数が増えすぎた野生動物による生態系への影響や農業被害の軽減
10. 生物多様性に配慮した商品購入の支援
11. 企業の生物多様性に配慮した事業活動への支援
12. 市民団体や NPO 等による保全活動への支援
13. 生物多様性の大切さや生物多様性に貢献する取組に関する普及啓発
14. 子どもたちの自然環境教育・自然体験の促進
15. その他 ()

※自然共生サイト…民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域のこと。

◆最後に、皆様ご自身に関してお聞かせください。あてはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

| | |
|--------------|---|
| 性別 | 1. 男性 2. 女性 3. 回答しない |
| 年齢 | 1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60～64歳 7. 65～69歳 8. 70～74歳 9. 75歳以上 |
| 住所 | つくば市 () ※丁目や番地は記載不要です。(例：つくば市吾妻) |
| 職業 | 1. 会社員・公務員 2. 自営業 3. 農林業 4. パート・アルバイトなど 5. 専業主婦(主夫) 6. 学生 7. 無職 8. その他 () |
| つくば市 居住年数 | 1. 1年未満 2. 1年以上5年未満 3. 5年以上10年未満 4. 10年以上20年未満 5. 20年以上30年未満 6. 30年以上 |

以上でアンケートは終了です。ご協力いただき、ありがとうございました。